

全国

ぜんこく
しぎかいじゅんぽう平成26年 12月15日
(2014年)
毎月3回5の日に発行
(購読料は会費に含む)第1925号
定価 1部20円

発行 全国市議会議長会

〒102-0093
東京都千代田区平河町2-4-2
代表 TEL 03(3262)5234
句報 TEL 03(3262)2309
発行人 原田 正司

http://www.si-gichokai.jp

市議会旬報

第151回建設運輸委員会



挨拶する佐藤委員長

建設運輸委員会(委員長 佐藤潤・室蘭市議会議長)は11月25日、東京・全国都市会館で、正副委員長会議の後、第151回委員会を開催した。会議では、佐藤委員長の挨拶の後、国土交通省から講演があった。続いて、事務報告を了承し、協議に入った。

協議では、①自然災害対策の推進②各種交通基盤整備の推進③都市基盤整備の推進④観光立国の推進の4項目を大きな柱とする「要望書」及び「東日本大震災に関する要望書」を原案の通り決定した。会議終了後、佐藤委員長、須崎八朗・副委員長(立川市議会議長)、三島良信・副委員長(松江市議会議長)は、国土交通省に赴き、青木一彦・大臣政務官、西脇隆俊・大臣官房長、深澤淳志・道路局長、黒田憲司・同局次長、加藤久喜・水管理・国土保全局次長、佐南谷英龍・大臣官房審議官(道路)に面談し、要望、意見交換を行った。他の委員も、地元選出の国会議員らに要望活動を行っている。

なお、講演では、石田優・国土交通省大臣官房会計課長から「平成27年度国土交通省予算概算要求の概要について」、西山幸治・同省水管理・国土保全局砂防部砂防計画課から「今後の土砂災害防止対策について」と題する説明を聴取した。



挨拶する大見委員長

国と地方の協議の場等に関する特別委員会(委員長 大見芳・浜松市議会議長)は11月26日、東京・全国都市会館で第9回委員会を開催した。

第9回国と地方の協議の場等特別委員会

会議では、大見委員長の挨拶の後、総務省から講演があった。続いて、事務報告を了承し、協議に入った。

協議では、まず、「国と地方の協議の場等の動向について」を議題とし、佐藤祐文・本会会長(横浜市議会議長)から国と地方の協議の場の動向について、大見委員長から地方創生担当大臣と地方六団体の意見交換会について、報告があり、これらを了承した。続いて、「国と地方の協

議の場(平成27年度政府予算編成)等への対応について」を議題とし、国と地方の協議の場への対応、第31地方制度調査会第2回総会への対応を決定したほか、今後の運営について了承した。

なお、講演では、橋本嘉一・総務省大臣官房審議官(財政制度・財務担当)から「平成27年度政府予算編成と地方財政対策」と題する説明を聴取した。



西脇大臣官房長に要望



青木大臣政務官に要望



報告する佐藤会長

から国と地方の協議の場の動向について、大見委員長から地方創生担当大臣と地方六団体の意見交換会について、報告があり、これらを了承した。続いて、「国と地方の協



黒田道路局次長に要望



深澤道路局長に要望



佐南谷審議官に要望



加藤水管理・国土保全局次長に要望

第151回産業経済委員会

産業経済委員会(委員長 荒谷みどり・阿南市議会議長)は11月27日、東京・全国都市会館で、正副委員長会議の後、第151回委員会を開催した。

会議では、荒谷委員長の挨拶の後、農林水産省、経済産業省から講演があった。続いて、事務報告を了承し、協議に入った。

協議では、①農業振興対策②林業振興対策③水産業振興対策④農林水産業共通対策⑤食の安全及び消費者の信頼確保対策⑥TPP等貿易交渉について⑦中小企業振興対策等⑧資源・エネルギー対策⑨の8項目を大きな柱とする「要望書」及び「東日本大震災に関する要望書」を原案の通り



挨拶する荒谷委員長

決定した。

会議終了後、荒谷委員長、小林治男・副委員長(大町市



皆川事務次官に要望



研究会の模様

議会議長)は、皆川芳嗣・農林水産事務次官、今井敏・林野庁長官、沖修司・同庁次長、本川一善・水産庁長官に面談し、要望、意見交換を行った。他の委員も、地元選出



今井林野庁長官に要望

の国会議員らに要望活動を行っている。なお、講演では、山口英彰・農林水産省大臣官房予算課長から「平成27年度農林水産省予算の概算要求について



沖林野庁次長に要望

て」、高科淳・経済産業省資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー部政策課長から「再生可能エネルギー・省エネルギーの現状と課題」と題する説明を聴取した。



本川水産庁長官に要望

第10回議会のあり方研究会

本会の議会のあり方研究会(座長 中郵章・明治大学名誉教授)は12月4日、東京・全国都市会館で第10回研究会を開催した。

研究会では、まず「調査結果の取組みに関する意見交換」を議題とし、11月に実施した大分市議会(12日)、

諫早市議会(13日)における現地調査の結果について意見交換を行った(本紙1923号に現地調査の模様を掲載)。

続いて、「報告書提言に関する課題(意見)等に関する意見交換」を議題とし、意見交換を行った。

なお、当日は、オブザーバーとして佐藤祐文・本会会長(横浜市議会議長)が出席し



中郵座長

た。

第62回事務局職員研修会開催

本会は「第62回全国市議会議事局職員研修会」を平成27年1月29日・30日の2日間、東京・砂防会館で開催いたします。

1日目は、原田正司・本会事務総長による開会挨拶の後、宮地毅・総務省自治行政局行政課長、長野基・首都大学准教授が講演します。

2日目は、北村純一・鳥羽市議会議事係長、本橋謙治・本会調査広報部副部長、大屋雄裕・名古屋大学大学院教授が講演します。

開催案内は11月28日付で全市へ送付しておりますので、1月9日までに欠報告書にてファクスで報告ください。詳細は本会ホームページをご参照願います。

お知らせ

本紙12月25日付け1926号と1月5日付け1927号は、1928号と併せ、1月15日付け1926・7・8号として発行します。

市議会議員の属性調査結果

本会は11月、「市議会議員の属性に関する調べ（平成26年8月1日現在）」を公表した。調査は、全国813市区

を対象にアンケートにより行い、回収率は100%。調査項目は①議員の年齢構成②議員在職年数③議員の兼業の状況④議員の所属党派⑤市議会事務局職員数―の5項目。なお、調査時の議員数は1万9709人。調査結果は

本紙では、その調査結果の一部について、過去の調査結果も取り上げながら掲載する。

議員の年齢構成（表①）を見ると、男女合わせて一番割合が高い年代は「60～70歳未満」の43・8%。次いで「50～60歳未満」の26・4%。男女別に見ても同じ順であるが、その割合は異なり、「60～70歳未満」では男性44・5%に対し、女性39・5%、「50～60歳未満」では男性24・6%、女性37・7%となっている。ほかに「70～80歳未満」で男性13・2%、女性5・2%となっている。

議員の在職年数（グラフ②）を見ると、男女合わせて割合が高い順に「10年未満」54・5%、「10～20年未満」32・1%となっている。議員専門の状況（表②）を見ると、男女合わせて割合が高い順に「10年未満」54・5%、「10～20年未満」32・1%となっている。

市議会事務局職員数
市議会事務局職員数の全国・人口段階別平均職員数（表③）を見ると、平成26年の全国の平均職員数は8・10人で、22年の8・20人と比べて減っているが、人口段階別に見ても、全ての区分で減っている。

表① 議員の年齢構成

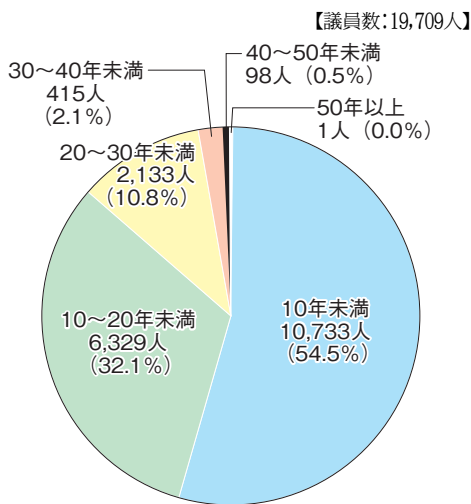
性別	議員数	年齢構成							平均年齢
		30歳未満	30～40歳未満	40～50歳未満	50～60歳未満	60～70歳未満	70～80歳未満	80歳以上	
男性	16,998人	61人 (0.4%)	835人 (4.9%)	2,051人 (12.1%)	4,178人 (24.6%)	7,568人 (44.5%)	2,238人 (13.2%)	67人 (0.4%)	—
女性	2,711人	7人 (0.3%)	145人 (5.3%)	321人 (11.8%)	1,023人 (37.7%)	1,070人 (39.5%)	140人 (5.2%)	5人 (0.2%)	—
合計	19,709人	68人 (0.3%)	980人 (5.0%)	2,372人 (12.0%)	5,201人 (26.4%)	8,638人 (43.8%)	2,378人 (12.1%)	72人 (0.4%)	59.0歳

※括弧内は各性別・合計の議員数に占める割合

※割合(%)は、それぞれ小数点以下第2位を四捨五入で表記しているため合計数は100%とならない

※調査結果を基に本紙が作成

グラフ① 議員在職年数

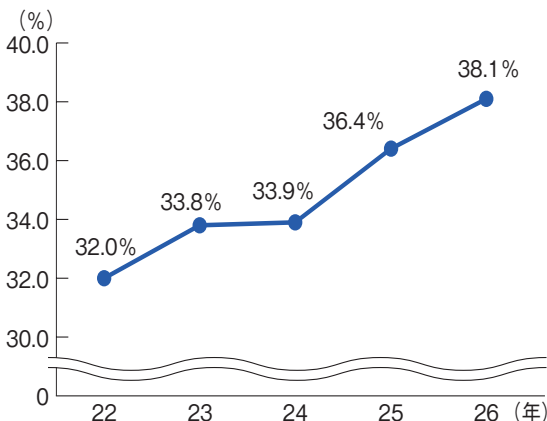


※括弧内は議員数に占める割合

※割合(%)は、それぞれ小数点以下第2位を四捨五入で表記しているため合計数は100%とならない

※調査結果から抜粋し、本紙が作成

グラフ② 議員専門割合の推移(近5年)



※過去の調査結果と合わせて本紙が作成

議員専門の状況（表②）を見ると、男女合わせて割合が高い順に「10年未満」54・5%、「10～20年未満」32・1%となっている。

表② 議員専門の状況

性別	議員数	議員専門
男性	16,998人	5,827人 (34.3%)
女性	2,711人	1,686人 (62.2%)
合計	19,709人	7,513人 (38.1%)

※括弧内は各性別・合計の議員数に占める割合

※調査結果から抜粋し、本紙が作成

表③ 市議会事務局職員数（全国・人口段階別平均職員数）

年	全国	人口							指定都市
		5万人未満	5～10万人未満	10～20万人未満	20～30万人未満	30～40万人未満	40～50万人未満	50万人以上	
22年	8.20人	4.71人	6.02人	8.83人	13.37人	15.97人	18.18人	29.12人	35.37人
26年	8.10人	4.60人	5.99人	8.65人	13.20人	15.85人	18.00人	28.03人	34.05人

※過去の調査結果と合わせて本紙が作成

(公財)後藤・安田記念東京都市研究所
(旧・東京市政調査会)
第40回「都市問題」公開講座
自治体議会が必要か？

2015年2月7日(土)13:30~16:30
日本プレスセンター 10階ホール
(〒100-0011東京都千代田区内幸町2-2-1)

『都市問題』公開講座は、公益財団法人後藤・安田記念東京都市研究所（旧・財団法人東京市政調査会）の発行する月刊誌『都市問題』の特集などから時宜に合ったテーマを選び開催しています。

第40回は次のような趣旨により、「自治体議会が必要か？」をテーマとして開催いたします。多数の方々のご参加をお待ちしております。

【開催趣旨】

自治体の議会は二元的代表制の下で首長と並ぶ市民の代表機関である。だが、行政に対するチェック機能が発揮されているのか、政策の発議を行っているのか、など多くの疑問が投げかけられてきた。こうした中で、議会内での不適切発言や政務活動（調査）費の流用疑惑が噴出し、市民の議会をみる眼は一層厳しくなっている。自治体議会が市民の信頼を得て代表機関としての役割を果たしていくためには、何が問われているのか。歩むべき道筋を考える。

基調講演

金井 利之 氏 (東京大学法学部・大学院法学政治学研究科教授)

パネルディスカッション (五十音順)

寺町 みどり 氏 (「女性を議会に 無党派・市民派ネットワーク」事務局)
中本 美智子 氏 (大阪府吹田市議会議員)
根本 良一 氏 (福島県前矢野町長)
東野 真和 氏 (朝日新聞編集委員(前大槌駐在))
山口 二郎 氏 (法政大学法学部教授) <同会>

参加費：無料

参加申込み：後藤・安田記念東京都市研究所ホームページ

(<http://www.timr.or.jp>)からお申し込みください。

申込み期限：2015年2月5日(木)

※満席となりしだい受付を終了しますので、お早めにお申し込みください。

問 合 せ 先：後藤・安田記念東京都市研究所 研究室
TEL:03-3591-1261 FAX:03-3591-1279

第11回専門小委が開催

第31次地方制度調査会第11回専門小委員会（委員長＝長谷部恭男・早稲田大学教授）は12月2日、東京・中央合同庁舎4号館で開催した。

議
会
人
事

議 会 人 事	
▽議長	
▽黒部	木島信秋(11・4)
▽甲賀	の場計利(11・11)
▽川西	小山敏明(11・11)
▽加東	安田 朗(11・11)
▽東温	山内孝二(11・11)
▽泉南	木下豊和(11・12)
▽豊岡	升田勝義(11・12)
▽岡崎	蜂須賀喜久好(11・13)
▽亀山	前田 稔(11・13)
▽薩摩川内	
▽上野一誠(11・13)	
▽栗田剛一(11・14)	
▽藤澤菊枝(11・14)	
▽東御	櫻井寿彦(11・17)
▽笛吹	大久保俊雄(11・18)
▽須崎	竹下雅典(11・19)
▽南あわじ	
▽燕	廣内孝次(11・20)
▽水見	中島清一(11・21)
▽中津	嶋田 茂(11・21)
▽見附	古江信一(11・25)
▽松戸	亀田 満(11・26)
▽竹原	大井知敏(11・27)
▽東大阪	北元 豊(11・27)
▽射水	堀 義治(11・28)
▽鉾田	栗田 洋(11・28)
▽いなべ	岡 英昭(11・28)
▽安芸高田	
▽藤井昌之(11・28)	
▽遠野	辻 靖雄(11・4)
▽十和田	野月一正(11・7)
▽黒部	安部重幸(11・11)
▽甲賀	加藤和孝(11・11)
▽川西	平岡 譲(11・11)
▽加東	小紫泰良(11・11)
▽東温	酒井克雄(11・11)
▽泉南	梶本茂驥(11・12)
▽豊岡	福田嗣久(11・12)
▽岡崎	田口正夫(11・13)
▽亀山	鈴木達夫(11・13)
▽薩摩川内	
▽新原春二(11・13)	
▽行木光一(11・14)	
▽森下賢人(11・14)	
▽清水新一(11・17)	
▽東御	

▽燕	谷口博文(11・20)
▽氷見	丸山吉朗(11・21)
▽中津	谷口貞夫(11・21)
▽見附	古森三千年(11・25)
▽松戸	関三郎(11・26)
▽竹原	張替勝雄(11・27)
▽東大阪	大川弘雄(11・27)
▽射水	菱田英継(11・28)
▽いなべ	石黒善隆(11・28)
▽安芸高田	川瀬利夫(11・28)
	青原敏治(11・28)



共同編集：全国市議会議長会・全国町村議会議長会

議員研修誌 月刊 **地方議会人**

A4判・68頁・定価750円（年間購読料9,000円）

【2014年12月号】

特集：地域の安全・安心の確保

卷頭言 宮田美恵子

・自治体は地域安全のために何をすべきか 小宮信夫

・高齢者の孤独死対策を考える
濱田健士

・子どもを事故や犯罪から守るまちづくり 山本俊哉

・高齢者の交通事故防止対策

岡田宗久

・地域安全マップ^②のススメ

中尾清香

○現地報告 千葉県浦安市

◆連載◆

・時流觀

ント／短期連載・議員と事務局編

ご注文・問い合わせは

直接TEL 03-3264-2520 又はFAX 03-3264-2867

URL <http://www2.odn.ne.jp/chuoubunkasha/>

株式会社

中央文化社